

地域・職域連携推進事業の実際
(山口県)

山口県防府健康福祉センター

重 富 澄 子

地域・職域連携推進事業の実際

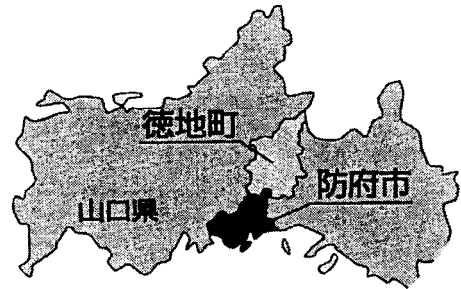
～山口県防府健康福祉センター管内の取り組み～

項 目

- 1 管内の状況
- 2 モデル事業の取り組み
- 3 地域・職域連携推進事業の実際
- 4 これからの方向

1 管内の状況

- 地理的には・・・ 県央部 防府市と徳地町



- 人口は・・・ 約126千人 高齢化、人口減少、過疎化の進行

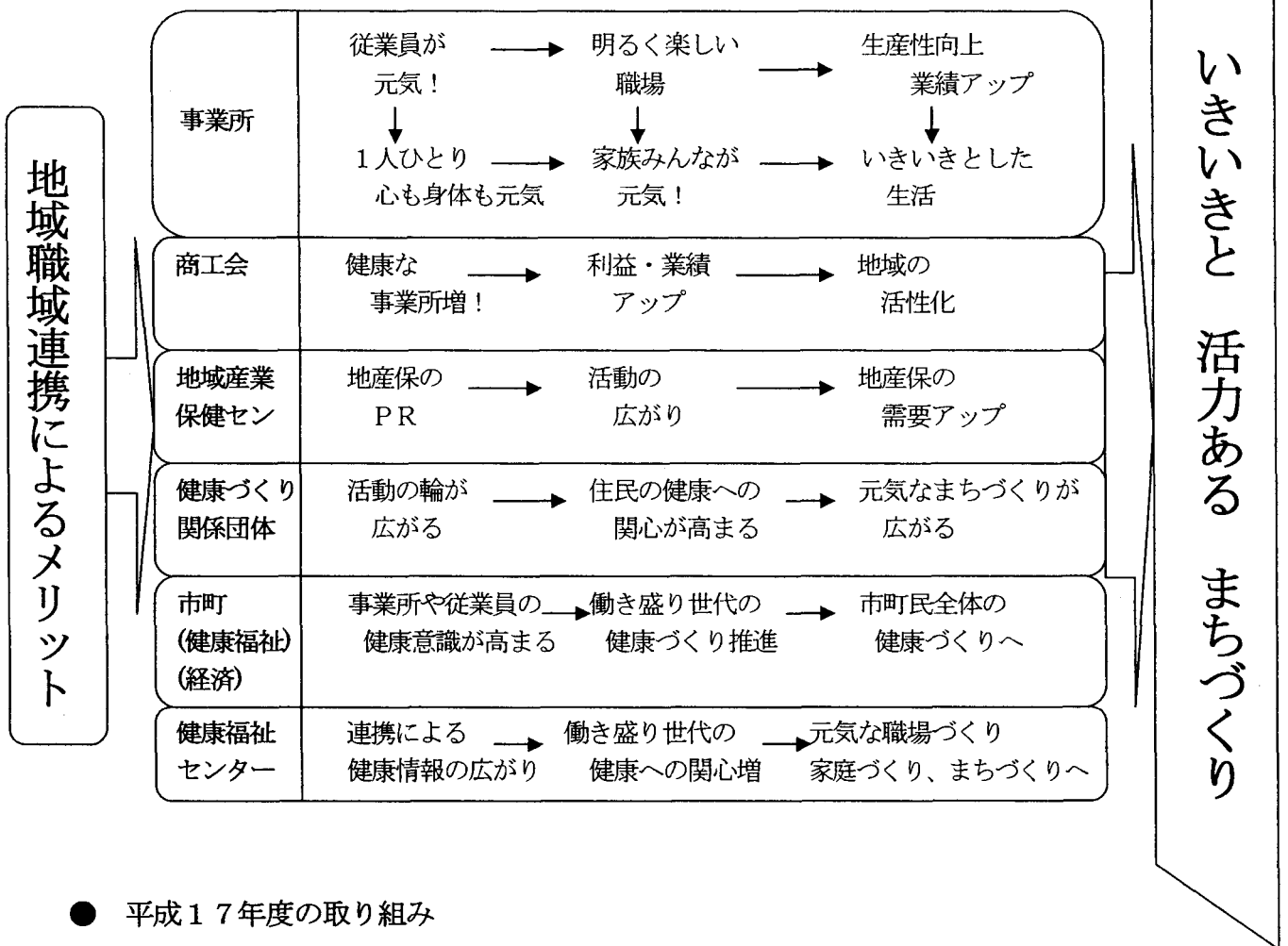
- 事業所は・・・ 事業所数 6,081カ所 (平13事業所・企業統計調査)

【業種別】	1 卸売、小売、飲食店	43%
	2 サービス業	30%
	3 建設業	11%
【従業員数別】	1～4人	65%
	*10人未満	83%
	20人未満	93%

- 健康づくり地方計画 山口県：「健康やまぐち21基本計画・行動計画」(平成12年3月)
防府市：「みんなで作る健やかほうふ21」(平成14年3月)
徳地町：「とくぢいきいきプラン」(平成14年3月)

4 これからの方向

● 1つの目標につながる！ 連携のメリット



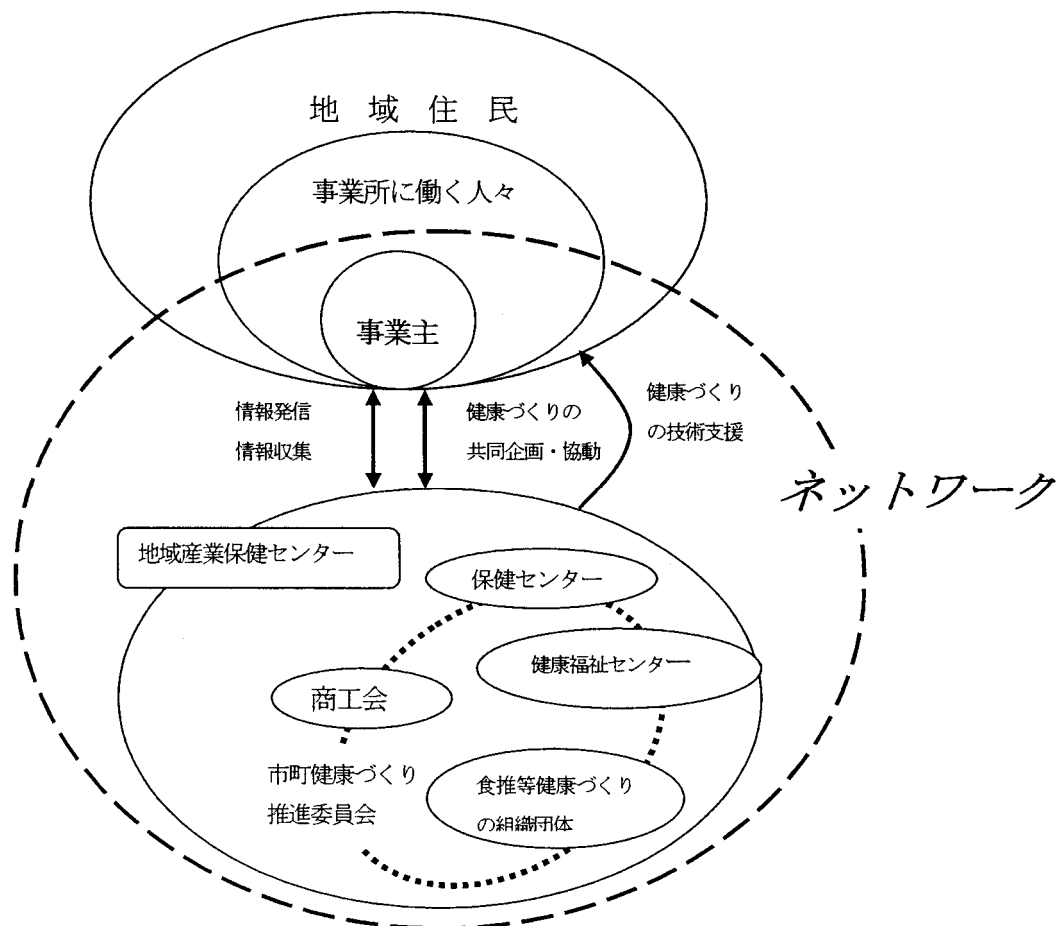
● 平成17年度の取り組み

- 1 目標 ～事業所、地域、職域が ともに本音で語り合う関係づくり～
 - ア 事業所の本当の思いを、事業所の立場になりきってしっかり聞く。
 - イ 女性の声（事業所、女性団体等）を、しっかりと聞く。
- 2 内容 (1)地域職域連携推進ネットワーク会議の開催
 - (2)事業所における“食生活をきっかけとした保健事業”の実施（新規事業所）
 - 食生活改善推進員活動との連携
 - 市町と地域産業保健センター、商工会議所・商工会等との連携
 - (3)商工会議所・商工会との連携による普及啓発の実施
 - 商工会議所会員への健康サービス事業の取り組み
 - 商工会会報への取り組み事業所体験記の掲載
 - (4)当センター主催研修会等の実施
 - 事業所関係者、商工会議所・商工会、地域産業保健センター、市町村等

● 当センターの役割 ～推進体制：地域職域連携推進協議会の設置

区 分		平成14～15年度 モデル事業	平成16年度	平成17年度 地区別会議
職域保健	事業所	○ 事業所 50人未満 2 50人以上 2	○ 実施事業所 1 食品衛生協会	○ 実施事業所 3 食品衛生協会
	地域産業保健センター	○ 理事 コーディネーター	○ //	○ //
	商工会議所・商工会	○ 会長 事務局長	○ // 女性部	○ // 女性部
	労働基準監督署	○		
	社会保険事務局	○ 課長	○ 社保健財団	
地域保健	歯科医師会	○ 会長		
	薬剤師会	○ 副会長		
	食生活改善推進員			○ 食推会長
	市町	○ 健康増進 保険年金	○ // 商工観光	○ // 商工観光
	当センター	○ 所長	○	○
大学	○ 2大学	○ 1大学		

● 地区別“ネットワークづくり”の推進



成果 **職域側**

- 1 商工会(議所)意識の変化
- 2 地産保(担当医)活発化の兆し
- 3 実施事業所の広がり

成果 **地域側**

- 1 従事者の意識の変化
- 2 ボランティア活動(食推)の活発化
- 3 健康づくり計画の推進

主な課題

- 1 事業主は健康より“安全と利益”を優先
- 2 保健センター等の活用が不十分
- 3 地産保、保険者等フォローが不十分

課題 1
事業主は健康より“安全と利益”を優先

提案 **職域で...**

- 商工会(議所)を巻き込む
- 優良事業所にメリットを
- まずは理解のある人を育てる

課題 2
保健センター等の活用が不十分

提案

- 市町内の国保との連携
- 保険者事業との連携活用
- 保健センターが職域に出易い環境づくり

課題 3
地産保、保険者等フォローが不十分

提案

- 各保険の健康管理の一本化
- 地域・職域の健康づくりの一本化
- 厚生労働と経済産業の共同アプローチ